



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月7日

上場会社名 鴻池運輸株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9025 URL http://www.konoike.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鴻池 忠彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理本部本部長 (氏名) 中谷 光弘 TEL 06-6271-4600
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	114,696	△1.0	4,220	△7.8	4,370	△0.4	2,568	8.5
25年3月期第2四半期	115,837	—	4,579	—	4,388	—	2,367	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 4,644百万円 (100.5%) 25年3月期第2四半期 2,316百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	90.28	—
25年3月期第2四半期	94.68	—

(注) 当社は、平成24年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年3月期第2四半期の対前年四半期増減率の記載をしております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	173,329	75,155	42.4	2,584.33
25年3月期	170,807	70,752	40.6	2,435.25

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 73,522百万円 25年3月期 69,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

- 平成25年3月期の期末配当金10円00銭には、上場記念配当5円00銭が含まれております。
- 平成26年3月期第2四半期末の配当および期末配当予想については、本日（平成25年11月7日）公表の「剰余金の配当（中間）および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	227,900	0.1	7,700	0.1	7,600	0.8	4,100	3.1	144.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	28,449,601株	25年3月期	28,449,601株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	18株	25年3月期	18株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	28,449,583株	25年3月期2Q	25,003,301株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日本銀行による大幅な金融緩和や公共投資を柱とした経済対策により株高円安基調が継続し、一部の耐久消費財を中心に個人消費の持ち直しが見受けられ始めるなど、景気回復に向けた兆しが現れ始めました。しかしながら、新興国経済の成長鈍化や円安による原材料価格の高騰、消費増税後の消費マインド低下など景気の下振れリスクも拡大しており、先行きは依然として不透明であります。

このような経済状況のもと、当社グループは厳しさを増す経営環境を見据え、企業価値の向上と更なる成長を実現するため、3ヵ年中期経営計画「エクスプレス計画Vol.2」を策定し、現在2年目として実行しております。最注力分野の一つと位置付けた医療分野において、提案型医療物流センター業務の拡大や高度メディカル輸送（再生医療品・検査検体・ワクチン等の輸送）の推進、インドでのホスピタルロジスティクスの展開を図るなど、物流の枠を越えた次世代中核事業の創出に積極的に取り組んで参りました。

当第2四半期連結累計期間における業績といたしましては、上記取り組みにより、医療関連分野において大幅な伸長となりましたが、鉄鋼関連分野での顧客の合理化施策への対応や競争激化を受け、売上高は1,146億96百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は42億20百万円（同7.8%減）、経常利益は43億70百万円（同0.4%減）となりました。四半期純利益につきましては、復興特別区域法の適用による減税効果等により25億68百万円（同8.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、各報告セグメントを構成する事業本部に所属する営業所の一部について、所属する事業本部を変更しております。そのため、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を当該変更後の数値で比較しております。

①複合ソリューション事業

複合ソリューション事業におきましては、食品分野において猛暑の影響によりスポーツ系飲料を中心とした清涼飲料水の製造請負業務が増加した他、流通分野では食料品や日用品等の生活必需品を扱う配送センター業務が新規輸送業務の獲得等により好調に推移しました。医療関連分野におきましても、顧客医療機器配送センターでの構内作業や子会社での院内物流の増加等により大幅な伸びとなりました。しかしながら、鉄鋼関連分野において職域再編や顧客の合理化施策への対応等による影響を受けたことに加え、外交問題の長期化により中国航空便の便数回復が遅れたこと等により空港関連分野が伸び悩み、売上高は743億円（前年同期比2.7%減）、セグメント利益は57億30百万円（同4.9%減）となりました。

②国内物流事業

国内物流事業におきましては、定温物流分野において、配送先店舗の増加等によりコンビニエンスストアや小売店向け冷蔵食品取扱業務が好調に推移した他、テーマパーク関連商品ならびにオフィス用品の取扱業務が増加したこと等により、売上高は253億53百万円（前年同期比0.3%増）となりました。その一方で、燃料価格の高止まりや電気料金の値上げによる冷凍・冷蔵倉庫運営費用の増加に加え、平成25年3月竣工の定温物流センター及び同5月竣工のアパレル専用倉庫の一時的な立ち上げ費用が発生したこと等により、セグメント利益は3億96百万円（同38.8%減）となりました。

③国際物流事業

国際物流事業におきましては、アジア諸国の低成長が長期化していることにより、中国向け産業用機械の輸出業務が弱含みで推移する等、厳しい状況となりました。しかしながら、チャイナ・プラスワン戦略として注力しているバングラデシュからのアパレル品輸入業務の増加や、ベトナム向け精密機器製造設備輸送業務が期間を通して好調だったこと、アメリカ子会社での鋼管製造設備輸送業務の獲得ならびに冷凍・冷蔵食品のトランスロード業務（海上コンテナから鉄道トレーラーへの貨物詰替え業務）の増加等により、売上高は150億42百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益は6億90百万円（同69.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

I. 資産、負債及び純資産の状況

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は665億28百万円であり、前連結会計年度末に比べ11億44百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金が19億36百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が9億21百万円減少したこと等によるものです。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1,068億1百万円であり、前連結会計年度末に比べ13億76百万円増加しました。主な要因は、建設仮勘定が22億83百万円増加したこと、投資有価証券が16億9百万円増加したこと、土地が26億75百万円減少したこと等によるものです。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は507億96百万円であり、前連結会計年度末に比べ31億2百万円増加しました。主な要因は、1年内償還予定の社債が50億円増加したこと、短期借入金が10億59百万円減少したこと、支払手形及び買掛金が3億7百万円減少したこと等によるものです。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は473億77百万円であり、前連結会計年度末に比べ49億83百万円減少しました。主な要因は、社債が50億円減少したこと等によるものです。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は751億55百万円であり、前連結会計年度末に比べ44億2百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金が22億95百万円増加したこと、為替換算調整勘定が12億34百万円増加したこと等によるものです。

II. キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは80億20百万円の収入となり、前年同期に比べ30億81百万円増加しました。これは、主に税金等調整前四半期純利益が42億68百万円あったこと、減価償却費が32億75百万円あったこと、売上債権の減少額が11億40百万円あったこと、法人税等の支払額が10億80百万円あったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは49億51百万円の支出となり、前年同期に比べ27億91百万円減少しました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が39億円あったこと、投資有価証券の取得による支出が5億26百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは19億91百万円の支出となり、前年同期に比べ11億87百万円減少しました。これは、主に短期借入金の純減少額が10億59百万円あったこと、長期借入金の返済による支出が4億76百万円あったこと、配当金の支払額が2億84百万円あったこと等によるものです。

これらの結果に現金及び現金同等物に係る換算差額4億1百万円及び、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額36百万円を考慮し、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より15億15百万円増加し、214億9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、国内景気については個人消費の持ち直しなど、本格的な回復の兆しが見え始めてきたものの、新興国の成長鈍化など下振れリスクも拡大しており、先行きは不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループの業績につきましては、復興特別区域法の適用による法人税等の減少や投資有価証券評価損の戻入れの発生、投資先の業績回復に伴う受取配当金の増加等により第2四半期連結累計期間は当初の見通しより上振れして推移しましたが、下半期につきましては、今後の見通しに不透明感が強いことから、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社の異動はありません。

なお、重要性が増したため、第1四半期連結累計期間よりKONOIKE ASIA(THAILAND)CO., LTD. を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,969	21,905
受取手形及び売掛金	39,395	38,473
未成工事支出金	158	37
貯蔵品	802	818
繰延税金資産	2,325	2,397
その他	2,810	2,973
貸倒引当金	△78	△77
流動資産合計	65,383	66,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	87,608	89,828
減価償却累計額	△52,126	△53,523
建物及び構築物 (純額)	35,482	36,305
機械装置及び運搬具	45,416	44,957
減価償却累計額	△37,606	△37,438
機械装置及び運搬具 (純額)	7,810	7,518
土地	40,975	38,299
リース資産	2,338	2,466
減価償却累計額	△897	△976
リース資産 (純額)	1,441	1,489
建設仮勘定	1,013	3,296
その他	6,502	6,555
減価償却累計額	△5,570	△5,584
その他 (純額)	931	970
有形固定資産合計	87,654	87,879
無形固定資産	2,561	2,455
投資その他の資産		
投資有価証券	6,832	8,441
長期貸付金	291	329
繰延税金資産	3,827	3,464
その他	4,487	4,452
貸倒引当金	△232	△221
投資その他の資産合計	15,208	16,466
固定資産合計	105,424	106,801
資産合計	170,807	173,329

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,899	12,591
短期借入金	4,177	3,118
1年内償還予定の社債	5,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	5,089	5,569
未払費用	8,325	8,398
未払法人税等	1,358	1,964
その他	10,843	9,154
流動負債合計	47,694	50,796
固定負債		
社債	13,000	8,000
長期借入金	17,287	16,403
繰延税金負債	396	425
再評価に係る繰延税金負債	2,357	2,357
退職給付引当金	14,529	14,804
役員退任慰労金引当金	1,988	1,858
その他	2,801	3,528
固定負債合計	52,360	47,377
負債合計	100,055	98,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,688	1,688
資本剰余金	755	755
利益剰余金	71,613	73,909
自己株式	△0	△0
株主資本合計	74,057	76,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,416	2,128
土地再評価差額金	△4,763	△4,763
為替換算調整勘定	△1,429	△194
その他の包括利益累計額合計	△4,776	△2,830
少数株主持分	1,471	1,632
純資産合計	70,752	75,155
負債純資産合計	170,807	173,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	115,837	114,696
売上原価	105,834	104,893
売上総利益	10,003	9,803
販売費及び一般管理費	5,424	5,582
営業利益	4,579	4,220
営業外収益		
受取利息	42	42
受取配当金	85	161
投資有価証券評価損戻入益	3	94
その他	126	168
営業外収益合計	257	466
営業外費用		
支払利息	304	265
その他	144	51
営業外費用合計	448	316
経常利益	4,388	4,370
特別利益		
固定資産売却益	58	18
その他	—	0
特別利益合計	58	19
特別損失		
固定資産除売却損	75	74
その他	153	46
特別損失合計	229	121
税金等調整前四半期純利益	4,217	4,268
法人税、住民税及び事業税	1,641	1,714
法人税等調整額	183	△52
法人税等合計	1,825	1,661
少数株主損益調整前四半期純利益	2,391	2,606
少数株主利益	24	38
四半期純利益	2,367	2,568

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,391	2,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△160	724
為替換算調整勘定	84	1,313
その他の包括利益合計	△75	2,037
四半期包括利益	2,316	4,644
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,292	4,512
少数株主に係る四半期包括利益	24	131

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,217	4,268
減価償却費	3,147	3,275
のれん償却額	129	80
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15	△14
退職給付引当金の増減額(△は減少)	94	274
役員退任慰労金引当金の増減額(△は減少)	△50	△130
受取利息及び受取配当金	△127	△203
支払利息	304	265
為替差損益(△は益)	6	12
固定資産売却益	△58	△18
固定資産除売却損	75	74
投資有価証券評価損益(△は益)	152	3
売上債権の増減額(△は増加)	278	1,140
たな卸資産の増減額(△は増加)	87	106
その他の資産の増減額(△は増加)	△167	△60
仕入債務の増減額(△は減少)	△652	△561
その他の負債の増減額(△は減少)	△172	661
その他	138	0
小計	7,388	9,175
利息及び配当金の受取額	119	196
利息の支払額	△303	△271
法人税等の支払額	△2,265	△1,080
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,938	8,020
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△0	△417
短期貸付金の純増減額(△は増加)	144	9
有形固定資産の取得による支出	△1,945	△3,900
有形固定資産の売却による収入	85	59
無形固定資産の取得による支出	△273	△267
投資有価証券の取得による支出	△129	△526
投資有価証券の償還による収入	—	100
長期貸付けによる支出	△17	△46
長期貸付金の回収による収入	16	8
その他	△40	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,160	△4,951

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△76	△1,059
長期借入れによる収入	3,100	—
長期借入金の返済による支出	△3,541	△476
配当金の支払額	△125	△284
少数株主への配当金の支払額	△12	△12
その他	△149	△158
財務活動によるキャッシュ・フロー	△804	△1,991
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	401
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,988	1,479
現金及び現金同等物の期首残高	12,596	19,893
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	201	36
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,786	21,409

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	複合ソリュー ション事業	国内物流事業	国際物流事業	合計				
売上高								
外部顧客への 売上高	76,330	25,266	14,239	115,837	0	115,837	—	115,837
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	590	1,286	97	1,974	37	2,011	△2,011	—
計	76,921	26,552	14,336	117,811	38	117,849	△2,011	115,837
セグメント利益	6,024	647	407	7,079	12	7,092	△2,513	4,579

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの資産運用業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,513百万円には、セグメント間取引消去56百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,569百万円が含まれております。全社費用は、当社の本社総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	複合ソリュー ション事業	国内物流事業	国際物流事業	合計				
売上高								
外部顧客への 売上高	74,300	25,353	15,042	114,696	0	114,696	—	114,696
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	620	1,152	51	1,824	37	1,861	△1,861	—
計	74,920	26,506	15,094	116,521	37	116,558	△1,861	114,696
セグメント利益	5,730	396	690	6,817	12	6,829	△2,608	4,220

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの資産運用業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,608百万円には、セグメント間取引消去38百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,647百万円が含まれております。全社費用は、当社の本社総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、各報告セグメントを構成する事業本部に所属する営業所の一部について、主要顧客ならびに事業内容の変化に対応するため、所属する事業本部を変更いたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更を反映し作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。